



地域密着型モデル校の追求 ～インクルーシブ教育の実現に向けて～

夏休みを終え、学校には子どもたちの元気な声が戻ってまいりました。それぞれの御家庭や地域での過ごし方はさまざまであったと思いますが、一人ひとりが自分の歩みを積み重ね、その経験を力にして、二学期はさらに成長していく大切な時期となります。



二学期は、行事や学習の機会が数多くあり、子どもたちの世界が大きく広がる時期でもあります。その中でも「読書」は、心をみがき、学びを深める大切な営みです。ちょうどその節目に、今年も綴喜ライオンズクラブ様からたくさんの本を御寄贈いただけることになりました。新しい本との出会いは子どもたちに大きな喜びをもたらし、学びや生活を広げていく道しるべとなります。子どもたちの成長を支えてくださっている御厚意に、心より感謝申し上げます。

8月25日、井手町の小中学校の先生方が一堂に会し、合同研修会が開催されました。講師には、一般社団法人 UNIVA 理事であり、中央教育審議会委員としてもご活躍の野口晃菜さんをお迎えし、「インクルーシブ教育の実現に向けて～次期学習指導要領改訂を踏まえて～」と題した御講演をいただきました。

当日は、PTA 本部の皆さまにも受付や協議への参加など、積極的にご協力いただきました。また、教育委員会や京田辺市の先生方にも御参加いただき、立場や視点を越えて、子どもたちが地域の中で切れ目なく育つための環境づくりや教育について、共に考える貴重な時間となりました。

野口さんは、「インクルーシブ教育とは、子どもが学校に合わせるのではなく、学校が子どもに合わせて変わり続けるプロセスである」と語られました。不登校や特別なニーズを持つ児童生徒が増える中で、「学級の“ふつう”を問い直し、すべての子どもが安心して過ごせる環境を整えることが大切」と強調され、社会モデルに基づく合理的配慮や多層型支援システム (MTSS) など、具体的な実践例も紹介されました。

子どもたちがこれから生きていく社会は、多様性を受け入れ、包み込むインクルーシブな社会であるべきです。その実現のためには、学校時代にどのような環境を築くかが極めて重要です。本校が「地域密着型モデル校」として果たす役割も、まさにそこにあります。地域の学校や人々とむすび合い、共に学び合うことで、子どもたちの力を「みがき」「むすび」「きりひろく」教育を進めてまいります。

なお、今回の研修会は三菱みらい育成財団の御助成を受けて実施することができました。こうした支えがあるからこそ、学校は新たな学びの機会を広げることができます。改めて心より感謝申し上げます。

保護者・地域の皆さまには、引き続き本校の教育活動に温かい御支援を賜りますようお願い申し上げます。二学期も子どもたち一人ひとりが、自分らしく輝ける場をともにつくってまいりましょう。

校長 江口 直美



小学部の紹介 ～みがく むすぶ きりひらく～

1学期には、小学部全員で取り組む「わくわくスポーツ祭」を実施しました。低学年は「サーキット」、中学年は「ボール運び」と「パラバレーン」、高学年は「ジェンカ」と「台風の目」、小学部全員で「玉入れ」と「小学部ダンス」に取り組めました。これまでの練習の成果を発揮し、楽しそうに頑張る子どもたちの姿がみられました。また、5・6年生は、会場準備や司会進行の練習等事前学習で学部全体のための取組に励み、当日も高学年として活躍する姿が輝いていました。当日の様子は、学校公開（9月）にあります学部懇談会で放映する予定です。



他にも小学部全員で取り組んだ「新入生歓迎会」や学年ごとに取り組んだ「そら豆やえんどう豆の皮むき」「大豆の豆むき」「夏祭り」「学校探検」等様々取組の中で、子どもたち同士の関わりや成長が見られました。



かるたづくり～国語～



多賀小学校との交流～特別活動～



磁石を使ったものの仕組みと働きの学習
～遊びの指導～

PTAの取組

- 5月 防災備品の消費期限・在庫確認
- 6月 研修部主催の「むすぶ交流会」
- 7月 文化部主催の「ミニスワッグ教室
(ドライフラワーをアレンジ)」

※YS（やまぶきサポーター）：朝のあいさつ運動、ブックカバーかけ、花の植え替え、廊下の清掃

近年、地震や水害などの災害が増加していることを踏まえ、PTA会費を活用して、お子様が学校で避難する際の備えとして学校に常備用の「防災バック」の導入を検討しております。学校全体で「防災」への意識を高めていきましょう！！



PTAの活動をより多くの方に知っていただくため、PTA Instagram を開設いたしました。今後も活動を配信してまいりますので、ご覧ください。

こまちサロンの取組

本校の教育理念である「地域と共に歩む学校」として、地域のすべての人と一体となって「共生社会」の実現や地域の振興を担う学校という意識をもち、図書ラウンジを拠点として地域の方々と積極的に交流しています。この「こまちサロン」のこまちは、井手ゆかりの歌人「小野小町」からいただいた名称です。今年も14の団体や個人の方に来ていただいています。

小学部：朗読の会「萌え」の皆様、京田辺子ども文庫連絡会の皆様、わらべうたサークル「このゆびとまれ」の皆様

中学部：スマイルサークルの皆様、日本舞踊松本様、エコーたちばなの皆様

高等部：京田辺音楽家協会の皆様、木津川市朗読サークル「こだま」の皆様
コンディショニングラボ佐々木様

多岐に渡る内容の発表等は子どもたちにとって貴重な経験の機会であり、様々な楽しみや学ぶが多い取組です。

